

早期発見・早期治療のススメ

医療

シリーズ 歯科治療最前線

適切なブラッシングと定期検診で長期間維持へ

インプラント治療のメンテナンスと定期検診

インプラントは虫歯になったり、折れることはほとんどありません。しかし、治療後のメンテナンスを怠ると問題なく機能する期間が短くなります。今回はインプラント治療後のメンテナンスと定期検診についてです。

治療後は特に丁寧なブラッシングを

「インプラント治療が終わったから安心。これで歯科医院に行く必要はないな」と思っている人は多くいるかもしれませんが、これは大きな間違いです。インプラント治療後は怖いのが「インプラント周囲炎」といわれる状態です。これはインプラントを入れた部分の歯茎の炎症のことです。原因や症状は歯のぐらつきがない点を除いては、



熊本インプラントセンター
添島歯科医院 院長
添島 義樹 院長
日本口腔インプラント学会 専門医
厚生労働省指定 臨床研修指導医
中医学園 非常勤講師

インプラントを長持ちさせるためには治療後のケアが大事です。そのポイントは大きく2つあります。そこで今回は「インプラント治療のメンテナンスと定期検診」について、添島歯科医院（熊本市桜町）の添島義樹院長に、お話を伺いました。

歯垢・歯石を溜めないこと

Q インプラント治療後のメンテナンスは、どうすればいいですか？

A 一番大事なのは、毎食後のご自身によるブラークコントロールです。適切なブラッシングを毎日実践して下さい。そのためには普通の歯ブラシに加え、歯間ブラシやデンタルフロスなどを補助的に使用するとより効果が上がります。インプラント体の上部に歯

定期検診の重要性を知ろう

定期検診では歯垢・歯石が溜まっていな

い方が対処しやすいといわれています。これらも定期検診の中で必ずチェックして

トラブルにも対処しやすいスクリーニング

また、インプラントの上部には歯冠を被せませんが、歯冠部分の止め方には大きく分けてスクリーニングで止める場合と、セメント（接着剤）で止める場合の2通りのやり方があります。スクリーニングで止める場合はぐらつきや緩みという点があります。逆にセメントで止めた場合は緩みにくい点がある半面、外しにくい点があります。歯冠部分に何かのトラブルが起きた場合は外しやす

インプラント治療のメンテナンスと定期検診

Q その他治療後に注意すべき点は、何かありますか？

A 天然歯の場合、虫歯や歯周病あるいは歯の根が割れて歯を失いますが、インプラントはそれがないのが利点の一つです。しかし、インプラントの周囲に歯周病と同じような炎症が起こる「インプラント周囲炎」には注意が必要です。インプラントの場合は、周囲炎がある程度進行しても歯冠がぐらついたりしないので、歯周炎と比較すると自覚症状としてわかりにくいといえます。

Q 3カ月から6カ月に一度はチェックを

そのためには定期検診が大事になって

きますか？

A そうですね。ブラッシングが良く出来て

いる人も出ていない人も、通常は3カ

月から6カ月に一度は検診を受けていただき

たいです。

Q インプラントを長持ちさせる秘訣はあ

りますか？

A 特別なことをする必要はまったくあり

ませんが、大きく言えば「適切なブラッシングの継続」と「定期検診の受診の2つさえ実践できれば、長期間の維持が可能

です。特別なことをする必要はまったくありませんが、大きく言えば「適切なブラッシングの継続」と「定期検診の受診の2つさえ実践できれば、長期間の維持が可能

第一高校 ● 合同庁舎 ● (社)日本口腔インプラント学会指定研修施設
添島歯科医院
熊本市桜町1-28-205 桜町センタービル2階
0120-354-508
http://www.soejima-sika.com/

医療 ニュース in KUMAMOTO

本荘キャンパスに外来診療棟を建設へ

熊本大学医学部付属病院

熊本大学医学部付属病院（熊本本荘1丁目）は、敷地内に3階建て外来診療棟を建設する。4月から基本・実施設計に入り12月に着工、2013年度をめどに完成する予定。

既存の外来臨床研究棟が老朽化しているのに伴って、置き換えの計画が立てられていた。2009年2月に着工。これまで西病棟と中央診療棟、東病棟を新築し

6診療科で完全外来診療予約制度を導入

また、同付属病院は4月1日から、同院の6診療科において完全外来診療予約制度を導入する。

今回導入する診療科は、神経内科、耳鼻咽喉（いんこう）科、頭頸（けい）部外科、眼科、発達小児科、放射線治療科、麻酔科の6診療科。従来は再来患者に対しては予約制で診療を行っていたが、4月からは初診患者においても予約制で診療する。

診療予約は、外来診療予約申込票に必要事項を記入し、FAXで受け付ける。今回の導入は外来での待ち時間の短縮、十分な診療説明の実施、入院待ち日数の短縮など外来・入院診療の効率化と医療サービスの向上のため。予約なしの外来患者に対しては、予約後改めて来院してもらおうかと、予約患者の診療終了後に診察を



▲熊本市本荘1丁目にある熊本大学医学部附属病院

平成3丁目から江越2丁目に新築移転

ひまわり在宅クリニック

ひまわり在宅クリニック（熊本市平成3丁目）は3月下旬、在宅医療の拡大を図るため、同市江越2丁目に新築移転する。

移転場所は通称平成けやき通り沿い、肥後銀行流通団地支店東側。敷地面積は360㎡、2階建て。診察室や事務室に加え、研修室も設ける。また、4月から医師と看護師を1人ずつ増員する予定。往診対象は原則、車で30分以内の地域で要予約。診療時間は午前9時から午後6時までで休診日は土日祝日。スタッフは医師2人、看護師3人、事務員1人の計6人。

後藤慶次院長は「在宅医療の受け皿はなかなか少ないため、今後は医療の体制を充実させ、熊本で在宅医療の輪を広げていくことが課題の一つです。異なった組織で働く医療・看護・介護スタッフをひとつの「チーム」として連携させるため、研修室も新たに設け



▲通称平成けやき通り沿いに新築

「ノバリス」治療症例数が3200件超に

熊本放射線外科

（医）社団法人優会・熊本放射線外科（熊本市出水7丁目）は1月、同院での定位放射線治療装置「ノバリス」の治療症例数が3200件を超えた。

同装置は頭頸部（けいぶ）や体幹部の病変に対し、放射線を多方向からピンポイント照射することができるとの特長があるが、放射線治療装置。同院では2005年5月に国内3例目として導入。稼働。さらに、昨年5月には放射線の精密・広範囲照射などにおいて1号機に改良が加えられた「ノバリス」も国内3例目として導入。稼働した。今回の症例数は1号機稼働時からの累計で、昨年秋には同装置の開発元フレインラボ社（ドイツ）から世界最多治



▲定位放射線治療装置「ノバリス」